

平成28年度第2回東庄町総合教育会議（議事録）

1. 開催日時 平成28年8月19日
開会：午後5時30分 閉会：午後6時20分
2. 開催場所 東庄町公民館第2・第3研修室
3. 議 題
(1) 給食センターの整備方針について
4. 出席者
東庄町長 岩田利雄
教育委員会
教育長 五十嵐正憲
教育長職務代理者 多田和代
委員 小林衛治
委員 向後元道
委員 林 英伸
説明員
教育員会事務局 教育課長 小林 豊
事務局 総務課長 多部田秀也、総務課長補佐 堀江弘之
庶務係主査 岩瀬知博
5. 傍聴者13名
6. 議事の経過 別紙のとおり

多部田総務課長 ただいまから、平成28年度第2回東庄町総合教育会議を開催いたします。

次第に沿って進めさせていただきます。はじめに町長よりごあいさつを申し上げます。

岩田町長 委員各位には、平成28年第2回の総合教育会議ということでご参集賜りまして、まことにありがとうございます。本日は、第1回目の総合教育会議での論点の一つとして取り上げられました、給食センターの整備方針についての検討をお願いするものでございます。現在、町の給食センターは大変老朽化が進んでおります。そしてまた、児童生徒への安全な給食を安定的に提供していくためには、早急に整備をしなければならないと思っております。

本日は、皆様方にも今後の整備、そしてまた運営方針等につきまして有意義なご意見を伺いたく、お願いを申し上げる次第でございます。よろしく願い申し上げます、一言ご挨拶にかえさせていただきます。大変ご苦労さまでございます。

多部田総務課長 ありがとうございます。つづきまして、教育長よりごあいさつを頂戴いたします。

五十嵐教育長 それでは皆さん、こんばんは。今年度第2回目の総合教育会議に先立ちまして、教育長として一言ご挨拶をさせていただきます。第1回目の総合教育会議は、教育の条件整備などの重点的に講ずべき施策についてを議題としまして、多くの意見を出し合っていました。4月25日に第1回総合教育会議を行ってから約4カ月がたちました。この4カ月の間、教育委員会としましては、給食センターの建設について、さまざまな検討をしてまいりましたので、今回は検討してきたことなどを報告するとともに、町長の挨拶にありましたように、給食センターについての協議をして、その方向性を決めてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

多部田総務課長 ありがとうございます。それでは、議事に入らせていただきます。議事進行は町長が行います。町長お願いします。

岩田町長 それでは、議題の1といたしまして、「給食センターの整備方針について」を議題とさせていただきます。事務局より説明をお願いいたします。

堀江総務課長補佐 第1回目の総合教育会議の論点の一つとして取り上げられました、給食センターの整備方針についての検討をお願いするものです。特に今回の会議では、今後の整備方針について、より具体的な検討をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

五十嵐教育長 それではまず初めに、私のほうから、経過並びに課題等のご説明をさせていただきます。先ほどの挨拶にもありましたように、4カ月間の間、給食センターの建設について検討してきたことについて報告をさせていた

できます。教育委員会としましては、できるだけ早く給食調理場の建設をしていけるようにと、その検討をしてまいりました。建設場所としましては、東庄中学校の敷地内に給食調理場を建設して、できれば親子方式の形で小学校に配送できないかということで考えてまいりました。そこで、給食調理施設の関係業者に、中学校の現地を見ていただき、意見をお聞きしました。その結果、まず給食調理場の排水の関係でございますが、施設内に建設すると、給食調理場の排水は現在の中学校の排水管を通して流すこととなります。しかし、東庄中の排水とともに調理場の排水を流すためには、現在の排水管では十分ではなく、整備し直さなければならないということがわかりました。また、排水管の整備とともに、その流末につきましても、整備もしなくてはならないということもわかりました。さらに、業者によりますと、建設予定をしていた中学校の敷地内の技術棟のすぐ南側に一段高くなった畑が広がっております。一段高くなっている畑から飛んでくるほこりが給食調理場の空気取り入れ口の高さと同じになり、ほこりを吸い込んでしまうという指摘があり、調理場を建設する場所としては、中学校の技術棟の場所は適していないということでございました。以上のように、給食調理場を中学校の敷地内に建設するには、排水管の整備、また、流末排水の整備が必要になることと、技術棟の場所ではほこりを吸い込んでしまうので適していないという、この大きな二つの問題点が出てきましたので報告させていただきます。

岩田町長 ありがとうございます。ただいま教育長から経過並びに課題等のご説明をさせていただきました。前回の会議の中で、私は中学校の敷地内に給食センターをつくるという考えを皆様方にお示しいたしましたが、いろいろな条件や、不具合な点が改めてあるということでもあります。中学校に関しては、自校方式で運用ができればということでの考え方でございましたが、設置するにはいろいろな問題をクリアしなければならないという課題が残されたわけがあります。しかしながら、現在老朽化が進んでいる給食センターは、一日も早く整備をしていかなければならないということでもありますので、皆様方からまたご意見等を賜りながら、現在の場所も含めてご検討賜ればと、このように考えている次第でございます。よろしくお願い申し上げます。

どなたか、ご意見等がございませんか。

向後委員 ただいま、教育長からお話がありました、問題点ということは私も伺っております、ほかの場所にとということも検討もしました。ただ、私の意見としては、将来的なことも考えますとやはり中学校に一番近いところに建てるべきではないかと思っております。そのためには、まず今の技術棟の場所に建てるというのは、ほこりの問題もあり、またそれによって技術棟を壊せば、当然、校舎の中に技術室をさらにつくらなければいけないという問題も

ありますので、もし可能であれば、私は校門を入るところの高いところに、建ててはどうかと考えております。ちょうどその付近に、今、何もつくっていない土地並びに千両がつくってある畑があります。その辺が買収できれば、ほこりの問題もクリアでき、一番中学校に近く、それと同時に排水の問題もクリアできるのではないかと思います。高台に給食センターをつくれば、給食調理場の排水は現在の中学校の排水と違うルートで流せるので、建設に対しては支障がないのではないかと考えます。できればそういう方向もひとつ検討していただければと思っております。以上です

岩田町長 ありがとうございます。ほかにございませんか。

ただいまの意見は、敷地内というよりも近い場所に建ててはどうかということでの発言であったと思います。今までは、技術棟も含めて、今ある建物をいったん取り壊してそこにつくるという考え方であったわけではありますが、排水の問題等多くの課題があり、これらの問題をクリアしていくのは大変なことであると思っているところでありますが、ただいまの話の中の、場所は、正門の入り口の辺りのことですか。

向後委員 そうですね。

岩田町長 正門の入り口の辺りの土地が少し高台になっております。そのあたりでどうかという話ではありますが、場所としては敷地内にほぼ近いものがあります。そういうことで皆様方からまたご意見等がありましたらお願いしたいと思えます。

小林委員 教育委員会では、中学校の敷地内ということで検討していたのですが、中学校の技術棟とプールの外側の敷地を買収という話も最初はありました。ただ、そこには古墳等の文化財がある可能性が高く、それにぶつかった場合は、2年3年じゃ、今度は建てられなくなってしまうのではないかとということで断念した経緯があります。今、向後委員から話があった場所については、文化財の検討はしていなかったんですが、そちらは大丈夫ではないかとの話もあります。

中学校の敷地内ということになると、流末が桁沼土地改良の耕地になるんですけども、そちらに迷惑をかけることになってしまいます。今、向後委員から話が出た場所については、桁沼土地改良の耕地に流さなくても済みそうだと、この高台の場所でしたら桁沼土地改良の耕地とは別の方向に流せるのではないかと思います。そういうことであれば、そこが問題ない土地であれば、買収できるのであれば、それが一番最適かなと私も思います。

今までの案は、技術棟やプールも壊して全部中学校の敷地内ということで、流末のことまで考慮していませんでした。壊してつくるにも相当なお金がかかると。まあそういうことを考えると、私もやはり向後委員から話が出た場所が、

今の段階では一番ベターなのかなと考えております。

岩田町長 ありがとうございます。先ほど、向後委員並びに小林委員のほうから出た、中学校の入り口の近辺の少し高い場所は、排水のことも含めてそれをクリアできるのではないかということでありました。また、教育長のほうからありましたほこりの件についても今の話だと、それも全てクリアできるだろうと思います。ただ、さっきちょっと古墳の話が出ましたよね。そちらはどうですか。

小林委員 これはまだ確認はしていませんけれども、当初から検討した場所はプールの上側の土地でしたが、そちらだと古墳が出るのではないかという想定でありました。もし古墳が出た場合、その土地はしばらく使えません。そういうことになると、せっかくそこに決めても頓挫する可能性が出てきますので、断念した経緯がございました。今回話に出ました、正門入り口付近の高台のほうは、正直言って、そこまでは検討していませんでした。

岩田町長 わかりました。ほかにございませんか。

正門の入り口の辺りの土地ということになると、買収ということにも、相成るわけでありまして、また古墳の関係も含めて可能かどうかということでもあります。その部分が、今、一つ課題として残されたわけでもあります。

また、別の案として、今の実際に建っている給食センターの隣につくるという案もあろうかと思われまして、現在の東城グラウンドである場所につくるといような形になるかと思われまして、そういう案も今出ております。これは排水等の問題はクリアをします。しかしながら、中学校の隣地の場所から比べれば、配送の面で非常に不便を感じるということでもあります。その辺りのことも含めてご協議を賜ればありがたいと思います。

いかがでしょうか。

林委員 それでは、今まで教育委員会、それからその前の検討委員会も含めまして検討を進めてきたわけですが、今おっしゃっていただいたように、現在の給食センターがある旧東城中学校の場所、こちらについても当時は検討していたと記憶しております。ただ、具体的に当時はやはり周囲の環境からの衛生面だとか、あるいは、既存の場所に建て直すとなると、やはり給食を一時期とめなければいけないとか、それが非常に大きなネックとなっておりまして、その場所がなかなか難しいということでありました。ほかの場所も幾つか検討は加えていたのですが、もう一つは大きな論点として、やっぱり小学校の統廃合がありましたので、そちらの状況を鑑みながら理想論としての中で、中学校の敷地内に設置できれば、職員も含めて理想的なものができるんじゃないかというような経緯で、最終的にそういうところである程度の合意の形成ができていたのでないかと思えます。

ただ、どうしても我々教育委員も、専門家ではありませんので、実際に業者の方々から、今、ご指摘いただいたように排水の問題であるとか、ほこりの問題であるとかそういう課題が出てきますと、やはり理想論だけではなかなか進めるわけにもいかないというのが現実的なところかなと思います。

今お話が出ました中学校の入り口の場所も、理想論の中では非常にいい案であると思いますが、あくまでも相手様の土地であるというのが大前提なところでもあるので、相手があることでありますので、なかなかそれが100%進められるかどうかということもあろうかと思えます。その中で、長期的に見て子供たちのためにどういった環境がいいのかということも、もちろん考えなければいけないと思いますが、ただ、同時に、今、在籍している子供たち、あるいは喫緊に通うであろう子供たちのために、すぐに手をつけなければいけないという問題もどうしても出てくるのかなと思います。そういった中で理想的な場所に設置できるのであれば一番いいと思いますが、そうではなければ第2案、第3案ということも考えておくことも必要なのかなと。場合によってはそのところもポイントとして重要なところであると考えます。 もう一つ大事なポイントは、その中学校の敷地内という考えが、なぜそこにスタートしたのかということでもあります。やはり温かい食事を温かいうちに食べさせてあげたいというような考えからであり、今の食缶方式であるとか、そういうこともその考えによるわけです。ですので、その理念が余り崩れないのであれば、一つの方法として現在の場所も含めて、ある程度柔軟に考えていくということも、これからは必要であると思います。発想、構想自体は平成26年度ぐらいからはスタート、あるいはそれ以前からスタートしていたわけでありませけれども、技術的なものの面、もちろんコストも当然考えなければいけません、そういった中でここまでできると、このところは絶対残したいと、だけこのところは違った方法があるんじゃないかという中で、ある程度の結論が出せるのであれば、そこはある程度、私は柔軟でもいいのかなというふうに思います。以上です。

岩田町長 ありがとうございます。先ほどの案につきましてご意見をいただいたわけでありませ、多田さん、いかがでしょうか。

多田職務代理 私は、土地のこととか排水のこととかはまるでわかりませ、子供たちに早く温かい給食を提供できたらいいなと思います。中学校の技術棟を壊してプールのところに給食センターをとという案は、私は大賛成でした。子供の食育も含めて、子供たちには温かいものを提供できて、なおかつ、みんなで食べられるようなランチルームがあって、そういう環境の中で子供たちが育つといいなと思っていました。しかし、いろいろな問題が出てきて、一番は排水の問題ですよね。その排水の問題がすごく根深くて時間がかかるとい

うことでしたので、それは断念しなければならぬのかなと思うのですけれども、ほこりの問題は何か防護壁みたいなものをつくれれば対策できるのではないかと思います。排水のほうは、そこが私にはわからないのですけれども、小林課長からもこの間説明を受けまして、それは難しいですよ、時間がかかることですよということで、そうなのかなと思っているのですけれども、私としてはそこが少し捨てがたいというか、皆さんの知恵を結集してどうにかならないものかと思っているというのが、今私の正直な思いです。以上です。

岩田町長 ありがとうございます。委員の皆さん方からいろいろご意見をいただいたわけでありまして。いろいろ検討されて、大変な思いをして、いろいろな形の中で検討を加えてこられたのではないかなと思います。

一番の理想はやはり、先般、学校給食の委員会の中でも話が出てまいりました。やはり校舎内により近いところに給食の設備があって、つくっている人たちの姿も見え、また、反応をその方たちにすぐ伝えることができる。そして何よりも、先ほど出ておりました温かいものが温かいうちに食べられるというような、身近に給食の施設があるということが理想だというようなことも言われてきておりました。先般の会議の中でも、そうあるべきだろうというご意見が出てきたわけでありまして。

その中で案として、中学校の敷地内の案がありますが、排水の問題、ほこりの問題、解体費用の問題等の課題があります。それに比べて、これはまだ具体的に交渉したわけでもありませんが、正門の入り口の辺りの土地という案がありますが、この案は排水の関係もクリアできるだろうし、また、先ほどの古墳の関係のいろいろな問題も多分大丈夫ではないかという話が出てまいりました。

その次に、配送の問題等もありますが現在の給食センターの隣につくるという案もございます。

つくるということにはもう皆さん前向きなわけでありまして、きちっと答えを出したわけではありませんけれども、この三つの候補地の中からどれがクリアできて、いち早く可能なのか、そしてまた、供給できる体制を整えることができるのかということが一番の課題ではないかと思えます。

物をつくるということになると、いろいろな計画を練りながら非常に年数のかかるものであります。一日も早くつくりたいということが考え方でありまして、今後整備にすぐにでも取りかかっていたいし、また、交渉ができるものなら交渉に入っていたいという思いがいたします。

その中で、我々だけのノウハウだけでは難しい部分もありますので、実際にこういう事業を行う専門的な人たちの意見が必要であると思えますけれども、その辺に関しては何か教育委員会の事務局のほうで考えはありますか。

小林教育課長 では、お許しをいただきましたので、発言させていただきます。

す。

教育委員会事務局といたしましては、やはり給食センターの場合には、建屋だけではなく設備系、非常に専門的な分野も多うございますので、我々事務方のみではやはり計画に限界があるということを感じております。したがって、これは卵が先か鶏が先かという話になりますが、設計業者をプロポーザルで決めて、そこに設備業者が入る。または、設備業者をプロポーザルで決めてそこに設計業者が入る。いろいろ方法はあるようではありますが、今事務局サイドでは、今年度中にお許しいただければ設備業者をプロポーザルにかけまして、よりよい提案をした業者を選び、そのような方々の専門的な知識を参考にしながら詰め作業をさせていただきたいと思っております。

なお、慣例でこの業界は、設備業者のプロポーザルに関しては無料で参加していただけるような慣例になっていることが条件としてあります。その後、細かい計画をつくり、教育委員会の中で機関決定し、町長部局ともすり合わせをいたしまして議会の皆様にお示しをし、それで来年度の実施設計の予算をいただければという段取りでいきたいと思っております。以上です。

岩田町長 先ほど来、ご意見をいただきました皆様方の考え方をやはりまとめていくことが大事だろうということで、今課長のほうから話が出てまいりました。何事もこういう事業を手がけている専門的な方たちがいるわけでありませうから、何かそれはお願いしてコンサル的な役割をしていただけるといふことでありますけれども、無料というのは、どのような条件なんですか。

小林教育課長 一応プロポーザルの条件といたしまして、その業者を選んだ場合、その業者の設備を使うという条件が入ろうかと思えます。要するに、そこはある程度設備を導入する入札に近い。それが担保になりますので、設備側はその部分は無償で協力をするというプロポーザルでございます。

あと、やり方といたしまして、先ほども申し上げましたけども、設計業者を入札で決めてからその設計業者に任意の業者を選ばせるという方法もありますが、今私ども事務局サイドでは設備業者のほうやはり重要でありますので、全てをいわゆる食缶方式にしようか、また、お箸をつけようかつけまいか、そういう細かいところも全て設備・機械で反映してまいりますので、事務局といたしましては、先に設備業者の意見を参考に進めていきたいと思えます。

岩田町長 建物の側は中に入る設備・機械、そういうものが大事でポイントになると。側は建物ということになりますけれども、その建物の中に入れて機械を設置するというのは大変窮屈なこともありますし、設計どおりにいかないこともある。まずそれを組み立てて側をつくってくるということですか。

小林教育課長 はい。

岩田町長 というようなことで、そういう設備業者をそろそろ決めて、設置

場所の、そしてまた敷地、土地の問題も含めて相談をかけられるようにして、事業の推進をはかれると、そういうことがいち早く目的を達することにつながるんだろうという説明でありました。それに対して教育長、何かございましたらお願いします。

五十嵐教育長 今、委員の皆様から意見が出ましたように、やはり温かいものを食べさせると。そして、今の状況、必ずしも給食センターが万全な状況ではありませんので、できるだけ早く新しい給食センターを建設して食べさせたいというふうに考えておりますが、ただ、そこに行くまでのことですけれども、さまざまな問題がこのように出てまいりました。それを一つ一つ、建設場所も含めまして意見をいただきましたので、それに基づいて検討し、できるだけ早く建設できるようにしていきたいと考えております。また、先ほど課長のほうから話がありましたように、設備業者にこちらの要望等を全部伝えまして、それに合わせたものを建設していくというような形がやはりいいのではないかと私も思っております。建物をつくるよりも、やはり中の設備のほうで給食をつくるためには必要になってくるのでないかと思っておりますので、その部分のこちらの考え、思いをしっかりと伝えまして、できるだけ早く給食センターをつくっていきたくて考えております。以上です。

岩田町長 先ほど、いろいろと皆さん方からご意見をいただきました。また、教育長のお考えをいただいたわけでありましてけれども、ともにいち早くセンターをつくるべきだろうというお考えであります。そのためには、やはりここでの会議内容が十分反映されて、またそれに向かって一日も早く進めるような、前向きな方法が理想だということでもあります。そのためには、やはりある程度の専門知識により中に入れる設備も含めて、どういうものがどのぐらいの形で、どのぐらいの面積で足りるかということが決まってくるわけでありましてから、ただ、どこの場所がいいということも含めて、今度、中に入れてどのぐらいの面積が必要で、どのぐらいの建物が必要なのかということも含めると、これはかなり、ただ建物だけ建てて雨露をしのげばいいというものではなくて、中の設備そのものが一番重要な問題でありますので、それを考えると素人の考え方よりも専門的な業種の人たちにいろいろお考えを聞いたり仕事を進めていただけたということが理想だということでもあります。

そういうことを考えれば、今日は皆さん方にご意見をいただいた中で、そういう形をすぐに決めて、これからスタートしていきたい。場所も含めてであります。場所等も何力所か出てまいりました。設置をする場所そのものが一番早くクリアできて、なおかつ設備が十分な面積がとれて、理想とされる建物が建っているというようなことが一番肝要なことではないかなと思っておりますので、ぜひとも進めてもらいたいと思っております。

給食と統廃合の問題が一緒になったようなところがありますけれども、実際には両方とも大事なことであります。先ほど来、幾つかありましたけれども、問題があるということは必ずあるわけですから、それをいかにしてクリアして理想とするものができるかということでもあります。いろいろなご意見の中に敷地内ということもありましたし、敷地に隣接するところであればいろんな問題もクリアできるという一長一短があるわけですから、これを全部理想とするというのはなかなか難しいところでもありますけれども、逆にっては敷地内で作られたものを運ぶということになると、これは法的ないろいろな問題が出てくると思うのですが、なかなか難しいこともあるそうであります。センター化したところから運べば、小学校でも幼稚園でも中学校でもいいという方針もあるというふうに聞いております。こういうような問題も含めて、なかなか我々サイドでは決められないというか、給食にかかわるいろいろな姿勢がありますので、そういうものを全部クリアしていくには何カ所も手がけたりしている人たちに、やはり力になってもらうということが何よりの鍵なのかなと、それが一番早く仕事が進められることにつながるのではないのかなという思いがいたします。そういうことで、課長のほうからまた何か総括としてご意見があったらひとつお願いしたいなと、今後進めるに当たって何かあればお願いします。

小林教育課長 せっかくご発言の機会をいただいておりますので、総括という意味ではございませんが、やはりプロポーザルのほう、まずプロポーザルをやるにいたしましてもどの程度の規模、それからどの程度の内容という基軸の部分は決めなければなりません。それにつきましては、既に教育委員の皆様にご検討いただいているところでありますので、これを基軸に業者に示しまして、そこで一番いいものを、いい提案をしてくれたところを選定するという作業に入りたいと思っています。ただ、それにつきましては、まだ町長部局と擦りあわせをしておりますので、その辺につきましてはご了解をいただきまして、その次の段階で業者が決まりましてから詳細については町長部局と相談をかけながら最終的な案をつくっていくという作業に入りたいと思います。以上です。

岩田町長 それでは、教育長、何かございましたらお願いします。

五十嵐教育長 それでは私のほうから、最初に東庄中学校の敷地内ということでの問題点をなさせていただきました。それを受けまして、中学校の正門付近の場所ということでご意見をいただきましたので、できましたらそのあたりも考慮し、今課長も言ったように、プロポーザル等をして考えていきたいと考えているところがございますが、いかがでしょうか。

岩田町長 課長並びに教育長の説明をいただきました。いち早くプロポーザルをして決定していただいて、その中で事業を推進していくということであり、委員の皆様方がご異議ございませんでしたら、この方針で進めさせてい

ただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

岩田町長 それでは全員異議なしということでもありますので、ただいまの意見に沿って、今後この推進をはかってまいりたいというふうに思っているところであります。幾つかの課題を先ほど来ご提案をいただきました。一つずつクリアしていくということも含めて、これからいろいろ本格的な作業に入っていくわけであります。具体的な準備を検討していただいて進めてまいりたい。そしてまた、皆様方の考えが十分反映されるような、そしてまた、いい意味での子供たちのためになれるような整備された設備をつくってまいりたいと考えているところであります。ひとつ今後ともよろしくお願い申し上げたいと思います。

多部田総務課長 ご審議いただきまして、大変ありがとうございます。

議事のほうは以上で終わらせていただきます。次にその他ということですが、議題に関係なく何かございましたら、ご意見をいただければと思います。

向後委員 緊急の問題として、また統廃合に絡みまして、神代小学校に来年にも複式学級ができることが想定されておりますので、県費負担の教員を減らさず、何とか統合まで複式学級にならざるに教育長にいろいろ各方面に働きかけていただいているわけですけれども、それがかなわなかった場合は町費負担でも対応していかなければならないと思っておりますので、ぜひ町長にも、その辺をお含みおいていただきたいと思いますと思っております。

岩田町長 前にも教育長のほうからそのようなご意見がありました。私もやはり今、向後委員が言われたように、私としてできることはやっていきたいというふうに考えているところであります。教員に関しては、非常に子供たちにとっても大事な部分であります。ですから、この町は小さいからそうならざるを得ないということもありますけれども、やはり教育を受ける身の子供たちにとっては、町でできる限りの応援をしてあげたいと思っているところでありますので、委員の意見がかなうように努力をしてみたいと思っております。よろしく願います。

多部田総務課長 ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは最後に、町長より閉会のあいさつをお願いいたします。

岩田町長 それでは、閉会に当たりましてご挨拶を申し上げます。

本日は大変夕方のお忙しい中、ご参集賜りましてまことにありがとうございました。

先ほど来、これからスタートします給食センターの問題等につきましてもいる

いろなご意見をいただきました。どうか、今後とも給食センターの設備が完成するまで皆様方のご意見等をいただければありがたいなと思っているところがあります。子供たちにどれだけのものが給食として与えられることができるか、そしてまた喜んでもらえるかということが我々の務めだと考えております。

そして今、少子化時代と言われているのですが、少子化の時代であればあるほど子供たちは大事な存在であります。それを過保護にしないためにも、いい意味においては子供たちには田舎らしい、いい意味での教育をさせてあげたいと思っているところでもあります。今後ともよろしくお願ひ申し上げたいと思ひます。また、先ほど、ご意見として出ました統廃合の問題につきましても、いろいろな問題も出てまいります。複式学級の問題等も出てまいりました。町としても最大限バックアップしてまいらるつもりでありますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げたいと思ひます。

長時間にわたりましてご協議いただきまして、心から感謝を申し上げ、そしてまた今後の皆様方の色々な意味でのご支援をお願ひ申し上げて、本日の会議を終了させていただきたいと思ひます。大変ご苦労さまでございました。